

# KYOKO TABBE

Piano Recital

# 田部京子

## ピアノ・リサイタル

—SHINKA—

<進化×深化×新化>

Vol.4

周防亮介

(ヴァイオリン・ゲスト出演)※

2025 **12.7** 日 14:00開演  
(13:30開場)

**浜離宮朝日ホール**

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階

全席指定(税込): **5,300円**

一般発売

2025年  
7月26日(土)  
10:00~

■プレイガイド

朝日ホール・チケットセンター

03-3267-9990 (日・祝除く10:00~18:00)

朝日ホール・チケットセンター 検索



チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード:299-142)  
セブン-イレブンにて取り扱い

ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード:34203)

店頭販売 ローソン、ミニストップ店内Loppiにて取り扱い

イープラス <https://eplus.jp> ファミリーマート店舗

主催:朝日新聞社/浜離宮朝日ホール/MIYAZAWA & Co.

お問合せ:サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

(平日12:00~15:00) ※チケットの取扱はございません

※就学前のお子様はご入場いただけません。託児サービスをご利用ください。イベント託児・マザーズ(要予約) 0120-788-222 ※都合により公演内容が変更となる場合がございます。

朝日ホール会員先行発売

Web会員先行

2025年**6月28日**[土]10:00~2025年**7月23日**[水]18:00

朝日ホール・チケットセンター 検索 ※「会員登録」ボタンからご登録ください。

電話先行

2025年**7月12日**[土]10:00~2025年**7月23日**[水]18:00

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日・祝除く10:00~18:00)



周防亮介

(ヴァイオリン・ゲスト出演)※

©JUNICHIRO MATSUO



モーツァルト:

幻想曲 c-moll k.475

Mozart:

Fantasia c-moll K.475

シューベルト:

「ヴァイオリンとピアノのための幻想曲」

C-Dur D934※

Schubert:

Fantasia for violin and piano C-Dur D934※

メンデルスゾーン:

「夏の名残りのバラ」による幻想曲 E-Dur op.15

Mendelssohn:

Fantasia über 'The last rose of summer' E-Dur op.15

シューマン:

幻想曲 C-Dur op.17

Schumann:

Phantasia C-Dur op.17



## —SHINKA—

「進化」「深化」「新化」「真価」・・・

進歩していくこと、より深まっていくこと、新しくなること、真の価値・・・

各々の意味合いは異なりますが、人生の中においては全てが密接に重なり合っているような気がします。

「深化」が、「進化」「新化」を生み、「進化」は、「深化」「新化」の融合から生まれるのではないかと思います。

音楽家として常に追い求めている「真価」は、作品の〈真髄〉です。

「真価」を伝える演奏家としての使命を果たすべく、「進化」「深化」「新化」を続けることを胸に刻みつつ、シリーズ—SHINKA—とともに歩んでゆきたいと思います。

今回は、モーツァルトのピアノ作品の中で異彩を放つハ短調の『幻想曲』K. 475で幕開けです。内省的で怖ろしいほどの闇と安らぎが激しく交錯した後は、周防亮介さんをお迎えてシューベルトの「ヴァイオリンとピアノのための幻想曲」D.934に続きます。晩年のシューベルトが天から静かに降り注ぐ光に包まれているかのように始まり、多彩な表現力と卓越した技巧を兼ね備えた周防さんのヴァイオリンとピアノが寄り添い親密な対話を重ねながら歌を紡ぎます。続いて、アイルランド民謡「夏の名残りのばら」をテーマに、儂さと哀愁を帯びたメロディをピアノならではのテクニックと融合させドラマティックな変奏を加えたメンデルスゾーン「夏の名残りのばらによる幻想曲」。そして、ロマン派ピアノ作品屈指の傑作、シューマンの幻想曲op.17。クララ・シューマンへの愛と葛藤、現実と夢の狭間を彷徨う魂の深淵を映し出すシューマンの神秘に迫りたいと思います。

4人の作曲家達が遺したファンタジーの世界をお楽しみいただけますように・・・

田部京子

## 田部京子 Kyoko Tabe (Piano)

17歳で日本音楽コンクール優勝。東京芸術大学に進学後、ベルリン芸術大学、大学院を首席で卒業。エピナール国際ピアノコンクール優勝、シュナーベルコンクール優勝、ミュンヘン国際音楽コンクール (ARD) 第3位など受賞。バイエルン放送響、バンベルク響、モスクワ・フィルなど多数の国内外オーケストラと共演するほか、世界のトップアーティストから共演者に指名され厚い信頼を寄せられている。CDは35枚以上リリース、国内外で特選盤に選出されるほか、レコード・アカデミー賞を受賞するなど高い評価を受けている。リサイタルシリーズ (2003年～浜離宮朝日ホール) は、シューベルト、シューマン、ベートーヴェン、ブラームスなどのシリーズに続き、2016年～2022年の『シューベルト・プラス』シリーズも大成功を

収め、2024年スタートの『SHINKA-進化×深化×新化』も高評価を得ている。また、NHKドラマ「夏目漱石の妻」の挿入曲「シューベルト：ピアノ・ソナタ第21番」の演奏でも話題を呼んだ。2020年にはベートーヴェンの「ピアノ協奏曲二長調op.61a (ヴァイオリン協奏曲二長調op.61のピアノ協奏曲版)」と「皇帝」をサントリーホールで一夜に2曲演奏し高い評価を得ている。2022年には、田部京子に献呈された「シューベルト：ピアノソナタ第21番ピアノ協奏曲版 (吉松隆編曲)」の世界初演が多くの話題を集め、大阪でも関西初演を行った。2023年にCDデビュー30周年を迎え、リリースされた「メロディー」も特選盤に選出、好評を博している。第一線で演奏活動を続け、日本を代表する実力派ピアニストとして人気を集めている。桐朋学園大学院大学教授。

公式HP：<https://www.kyoko-tabe.com>



## 周防亮介

Ryosuke Suho  
(Violin)

1995年京都府生まれ。7歳よりヴァイオリンを始める。2016年ヴィエニャフスキ国際コンクール入賞及び審査員特別賞受賞をはじめ、日本音楽コンクールやオイストラフ国際コンクールなど、国内外の数々のコンクールで優勝や入賞の実績を持つ。また第25回出光音楽賞や第25回青山音楽新人賞なども受賞。12歳で京都市交響楽団との共演を皮切りに、パリ管弦楽団やフランス国立管弦楽団、NHK交響楽団など数多くの国内外オーケストラと共演。15歳で初リサイタルをおこない清水和音や上田晴子など第一線で活躍するピアニストと共演を重ねる。2024年4月にはサントリーホール大ホールにて「周防亮介の協奏曲“パガニーニ・ブルッフ・シベリウス”」と称して一夜で3曲の協奏曲を演奏するなど、その挑戦は止まらない。CDはオクタヴィア・レコードより『パガニーニ：24のカプリース』『歌う旅路』など5枚のアルバムをリリース。東京音楽大学特別特待奨学生としてアーティスト・ディプロマコースで学び、在籍中にロームミュージックファンデーションの奨学生にも選ばれる。東京音楽大学を修了後、江副記念リクルート財団奨学生として、メニューイン国際音楽アカデミーに留学。マキシム・ヴェンゲーロフ氏、ルノー・カピュソン氏のもと研鑽を積んだ。使用楽器は宗次コレクションより貸与されている1678年製ニコロ・アマティ。

©JUNICHIRO MATSUO

— Web会員募集中 — お申し込み **朝日ホール・チケットセンター** 検索 ※「会員登録」ボタンからご登録ください。

田部京子浜離宮公演の最新情報がメルマガで届きます。ぜひご登録ください。



特典1  
登録料  
年会費  
無料



特典2  
会員向け  
先行販売  
※先行販売を実施しない公演もあります。



特典3  
24時間  
購入可能



特典4  
座席  
選択が  
可能



特典5  
最新  
情報の  
お届け

